

Indonesia Weekly

2021年8月2日

(対象期間：2021/7/26～2021/7/30)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2021年7月30日)

【株式市場】

インドネシア株式市場は週を通して、中国当局の企業への規制強化を嫌気した中国株の混乱にもかかわらず、その影響は限定的でしたが、消費関連株の4-6月期の決算の不振を受けて大型株を中心に下落しました。デジタル関連の銘柄は引き続き堅調となりましたが、銀行や消費関連株は上値の重い展開となりました。インドネシア株式市場は前週末比で下落しました。

2021/7/23	2021/7/30	変化率
6,101.69	6,070.04	-0.52%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年7月30日)

【債券市場】

26日は27日のイスラム国債入札を前に様子見姿勢が強まりました。27日の同入札は年初来で最高の応札額となりました。銀行や年金などを中心に、特に長期債の応札が活発となりました。しかし、27-28日開催の米連邦公開市場委員会（FOMC）を前にして、インドネシア国債は外国人投資家による売りなども見られ、狭い値幅での動きとなりました。その後、FOMCで早期のテーパリング（量的緩和の縮小）観測が後退したことなどから、市場では安心感が広がり米国債利回りの低下（価格は上昇）につられ、インドネシア10年国債利回りも低下し、前週末比で低下となりました。

2021/7/23	2021/7/30	変化幅
6.304	6.294	-0.010

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年7月30日)

【為替市場】

週初、新型コロナウイルス感染者数が高止まりしていることなどを背景にルピアは弱含みしました。中国当局の企業への規制強化を嫌気した中国株の急落を背景に、アジア通貨全般の上値が重くなったことも下落要因となりました。しかし、週末にかけてはテーパリングに慎重なハト派的となったFOMCの結果を受けて、債券市場への外国人投資家からの資金流入などを背景にルピアは買い戻し傾向となりました。ルピアは対米ドルでは前週末比で上昇しましたが、対円では円高の進行を背景に前週末比で下落しました。

2021/7/23	2021/7/30	変化率
0.7624	0.7579	-0.59%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保障するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。